第69回愛知県公立大学法人評価委員会会議録

1 日 時

令和7年2月27日（木）午後2時から午後2時40分まで

2 場 所

愛知県庁本庁舎 6階 正庁

3 出席者

委員 3人

説明のために出席した者 10人

4 傍聴者

1名

5 議 題

(1) 愛知県公立大学法人第四期中期計画に関する意見について

(2) 地方独立行政法人法の改正に伴う年度計画及び年度評価の廃止について

6 議事概要

【愛知県公立大学法人第四期中期計画に関する意見について】

○ 第四期中期計画に関する意見を決定した。

【地方独立行政法人法の改正に伴う年度計画及び年度評価の廃止について】

○ 原案について「意見なし」とした。

【質疑】

(1) 愛知県公立大学法人第四期中期計画に関する意見について

○ 委員

それでは、議題1「愛知県公立大学法人第四期中期計画に関する意見について」、審議に入りたいと思います。愛知県公立大学法人第四期中期計画（案）について、これまでの評価委員会で出た意見等について、大学法人から説明をお願いします。

(資料説明)

○ 委員

ご説明ありがとうございました。それでは、この愛知県公立大学法人第四期中期計画につきまして、何かご意見はございますか。

○ 委員

産業界との交流という意味では、老若男女を問わず、垣根をこえて意見交換をすることが大事だと思います。これからの若い人にはそういう体制を組んで、新しいものを作り出していくことを学んでもらうことは重要です。やはり学生時代というのは、非常に重要な時期だと思っておりますので、産業界やステーションA i もありますけど、他の学校や他の学部の方と交流してもらい、脳への刺激を増やしてもらおうということは大事だと思います。中期計画についても、国際的な競争社会においても、勝てるような、柔軟さや強さを見出していただけの内容になっていると思います。これからこの計画に沿っていただければと思っております。特に、これに関しての修正意見はございません。

○ 委員

強い応援のお言葉ありがとうございます。ここに挙がっている項目は、楽なものばかりではなく、大変な項目もあると思いますが、頑張ってくださいと思います。

○ 委員

教育と研究というのは、お互いがお互いを高め合うことができれば、もちろんそれが理想ですが、どうしても教育の負担が増えていくと、逆に研究費の獲得のために割ける時間が少なくなることにもなり、教員はいつもそこにジレンマを抱えながら、仕事をしているところがございます。その連携による新しい形の教育の提供というのが、教員にとって純増になるのではなくて、例えばですが、名

古屋大学と岐阜大学が同じ大学法人となった時に、教養の授業については、ジョイントで提供して、両方をお互いの単位とすることができることにしました。それにより、教育の質を下げずに、同じ質、同じ内容の授業を提供するのだけれども、質を維持しながら、教える人数を減らすというようなスリム化の試みというものもできるかもしれません。教育の連携というのが、コマ数を増やすだけではなくて、スリム化の方向にも利用できる仕組みというのがあれば、教員の立場としては、非常に助かる部分があるのかなというふうに思いました。中期計画についての意見というよりは、今後の計画をどう実行に移していくかというところで、アイデアとしてはあるのかなというふうに思っております。

○ 大学法人

私の言葉が足りなかったかと思いますが、まずは教養科目について、一緒にできるように取り組みたいと考えております。教養を高めていただいて、社会の現場で活躍をしていただきたいと思います。

○ 委員

典型的な例としては、語学の授業が、一緒に提供することができやすい科目ではないかと思えます。その辺りで、教員の負担のスリム化が、可能かなと思いません。

○ 委員

同意します。連携というと、新しいものを作らなければいけないということになり、どうしても膨らんでしまいます。そうではなくて、質を上げれば良い訳です。量を増やす必要はない。

○ 大学法人

語学については、県大の得意分野ですので、取組を進めればと思います。

○ 委員

私からも少し確認させていただきたいと思えます。例えば企業との連携で、合同会議を開催するというものがありますが、これの規模感はどのようなものですか。

○ 大学法人

メンバーとしては、20人くらいでしょうか。経営者協会と近隣の教育委員会等を考えております。文理融合のカリキュラムを作っていくのに、意見を頂戴す

る場を定期的に設けるという趣旨です。

○ 委員

教育上の連携DXの項目で、新しいシステムを導入するとありますが、これは2大学共通のシステムですか。

○ 大学法人

そうです。

○ 委員

ブランド化という話もありましたが、高校生へのアピールでは遅いのではないかという意見もあります。昨今では、中学生から理系の子は理系へ進ませるといったように、高校生からでは遅いと言われています。中高一貫校もできているなかで、高校生だけではなくて、もう少し若年層をターゲットとした戦略はないのでしょうか。特に芸術大学ですと、そういったことが重要になってくると思います。

○ 大学法人

人文系の方の大学については、まだそこら辺のことはこれからかもしれませんけれども、特に芸術系の方につきましては取り組んでおります。例えば、中学校の吹奏楽部の指導や、学内でのレッスン会等を実施しております。これについては、小学生以上を対象としております。また、ロータリークラブにもお手伝いをしてもらい、「こども愛知芸大」という取組を行いました。小中学生の方を対象として、実際に楽器をやっている方にはそのレッスン、全くやってない方にはパーカッションといったことを体験していただくようなものです。あるいは、日本画の画材を使ったワークショップも行いました。そのようなことにより、芸術に触れていただき、裾野を広げる取組を少しずつ行っております。

○ 委員

他に御意見・御質問等ございませんでしょうか。

(意見・質問なし)

中期計画については、これまでも色々な御意見をいただき、意見が織り込まれた形になっておりますので、知事には、この中期計画は適当と認めるという意見を評価委員会として出したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、そのとおり決定いたします。

(2) 地方独立行政法人法の改正に伴う年度計画及び年度評価の廃止について

○ 委員

それでは、議題2「地方独立行政法人法の改正に伴う年度計画及び年度評価の廃止について」に移ります。資料4について、事務局から説明をお願いします。

(資料説明)

○ 委員

ご説明ありがとうございました。それでは、説明のありました資料の内容につきまして、何かご意見はありますか。

○ 委員

地方独立行政法人法の改正の概要のところ、「提出を廃止」と書いていますが、誰から誰への提出の廃止なのでしょうか。

○ 愛知県

これは、公立大学法人が作成する資料でございます、法人から知事への提出を廃止するということです。

○ 委員

評価委員会において確認というのは、具体的にどのようなことをするのでしょうか。このような会議を開催して確認するというのでしょうか。

○ 愛知県

今のところ、評価委員会を開催しまして、その中で、進捗状況についての説明を法人からしていただいて、評価委員会で御意見をいただくことを考えております。

○ 委員

別に私は廃止することに関しては全然反対ではないのですが、どうしてこういうふうに変えるということになったのか、経緯を公表できるのであれば教え

てください。

○ 愛知県

国立大学が既に2022年度から実施しております、いわゆる評価にかかる労力が、かなりかかっているということで、より教育の質を向上させるという意味で、指標を定めた上で年度計画と年度評価を廃止するものです。

○ 委員

計画が絵に書いた餅に終わらないよう、PDCAだけをしっかりとやっていただければ、第三者がとやかく言うことはないと思います。ただ、そのPDCAが実施されないということになると問題があるのでしっかりと実行していただければよろしいのではないかと思います。

○ 委員

色んな計画を立てていただいたので、それがちゃんと進んでいるかということを確認するということですね。2029年にある見込評価によるチェックが厳しくて、国立大学でも受けていますが、しっかりと進めていただくようお願いいたします。

○ 委員

他に御意見・御質問等ございませんでしょうか。

(意見・質問なし)

それでは、そのとおり決定いたします。

○ 委員

本日子定しておりました議事は以上でございますが、委員の皆様から他に発言はございますか。

(意見なし)

○ 委員

私から一つだけ確認させてください。先ほどの情報人材の話ですが、情報をやる人について、情報だけやってきた人は今後それほど求められないのではないかと思います。情報技術を新しい分野に活用できるとうまく提案できる人材

でなければ、使われっぱなしになるので、カリキュラムをうまく作って、気を付けてやっていただければと思います。

○ 大学法人

名古屋大学と被る部分もあるのですが、デジタルツインをテーマにしておりまして、ユーザー側でも活躍できる方を育成できればと考えております。

○ 委員

それでは、長時間にわたり、円滑な運営に御協力いただきましてありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しします。

○ 事務局

今回をもちまして、今年度予定しておりました評価委員会は全て終了しました。今年度においては、6回も評価委員会を開催させていただきまして、委員の皆様にも御協力をいただきましてありがとうございました。来年度は、2024年度の年度評価と第三期中期目標期間の期間評価がございます。まずは5月頃に視察を予定しております。評価委員の皆様には日程調整をさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。

以上

会議録署名人

会議録署名人